



寄稿

5 和歌山で暮らして 思うこと



産経新聞和歌山支局長

山口 淳也



「お願いしときます」

昨年5月から和歌山に住み、和歌山で仕事をするようになって、この言い方を聞くことが多くなった。「ご検討いただいて、いいお返事をお待ちしています。よろしくお願いしときます」「楽しいイベントなのでぜひ来てください。お願いしときます」「毎年受けていただいています。今年もどうぞよろしくお願いしときます」—といった具合だ。和歌山の人みんなが使っているわけではないが、けっこう頻繁に耳にする。別れ際や電話の切り際に言われることが多いように思う。

感覚的には、「お願いしときます」は「お願いします」「お願いいたします」と同じ意味で使われている。一般的な人が「お願いします」を使うように、和歌山の人が「お願いしときます」を使っているように思う。和歌山でこの言い方を使っていた中年男性に聞いてみたことが一度あるが、やはり思った通りで、使えと教えられたわけではなく、親や周囲の人が使っているのを聞いて自然に使うようになった、意識して使っているわけでもないとのことだった。

この言い方は、過去に別の地域でも耳にしたことがある。遠くは福岡県で聞いたこともあるが、ほとんどは関西。世間一般でも、関西の言い方ととらえられていることが多いようだ。

私は兵庫県姫路市に生まれ、同県内を中心に育った。社会人になってからは和歌山以外の近畿2府3県でほとんどを過ごした。しかし、この言い方にはなじみがない。今ほどよく聞くこともほとんどなかった。ただ、大阪府南部の泉州地方で仕事をしたときは和歌山と同じか近いくらい耳にして、当時も気になっていた。和歌山の隣なので、地域的な関連性はあるのだろう。

実は違和感がある。「しときます」は「しておきます」のなまりだろうから、「お願いしときます」は正確には「お願いしておきます」で、「お願い」を「しておきます」だから、「お願いをしておきます、いいですね」と念を押すような意味合いになると思うのだが、私にし

てみれば「お願いをしておきましたよ。だから必ずやってね」と、半ば強制のように言われた気になるのだ。なんか失礼だな、とも思う。これまで自分で使ったことはないし、こうした言い方を聞いて、真似て使ってみようと思ったこともない。関東の人などにこの言い方のことを聞いてみると、おおむね私と同じように「嫌い」だと言う。総じて、他地域の人への評判はあまりよくないと思われる。

なのに、和歌山の一定数の人たちが使っている。なぜだろう。この際、少し調べてみようと思い、方言について詳しい和歌山大教育学部の澤村美幸准教授を訪ねてみた。澤村准教授から得たのは意外な答えだった。

『しときます』は当たりをやわらかくする意味合いがあり、相手との関係性にもよりますが、意識して使っている人はソフトな言い方にしているつもりだと思います。『お願いしときます』は、今すぐでなく時間があるときにやっておいてください、やれるときにやっておいてくれたらいいのでよろしく、というニュアンスですね」

「お願いしときます」は「お願いします」よりも圧のかけ方を弱めている、ということだそう。私の抱いていた「強制的な印象」とは正反対だ。

一方で澤村准教授はこうも話した。「本当はすぐにやってほしいけど、ゆとりがあるように装う、という意味合いもあります。相手に負担がかかるのを避け、配慮しているのです。関西人独特の表現様式の一つです。あまりはっきりズバズバ言わない婉曲的な言い方ですね」。澤村准教授は山形県出身。関西に初めて来たときは、こうした関西人の言い方にカルチャーショックを受けたそう。

澤村准教授によると、和歌山ではこうした関西全体の特徴に加え、半島という地理的要因から古い言葉が残りやすい傾向があるという。なるほど。「ぎじずぜぞ」の発音が苦手なことなど、たくさんある和歌山の方言や言い方の癖も、そういうことなら説明できるよう

な気がした。とても勉強になった。

相手への配慮から「お願いしときます」と言っていると考えると、和歌山の人々が非常に善人に見えてきた。

昨年5月に着任するまで、実は和歌山という街にいい思いを抱いていなかった。

26年前の夏のことだ。仕事で和歌山市役所へ用事があり、生まれて初めて南海和歌山市駅に降り立つと、土地勘のない私は何気なく駅前のタクシー乗り場で、待っていた1台に乗り込んだ。初老の男性運転手に「和歌山市役所」と行き先を告げると、運転手は露骨に嫌な顔をした。しきりに舌打ちしながら車を走らせる。私は近距離だったから気分を害したと気づき「近くてすみません」と声をかけたものの反応はなく、運転手はさらに「2時間待ったのにワンメーターや」などとぶつぶつ文句を言い、「近くに行くときは流しのタクシーに乗るもんや」などと説教された。タクシー乗り場で気軽にタクシーに乗れないのか、嫌な街だな、と思った。

そんなマイナスイメージを持ったまま和歌山に着任した。間もなく1年。嫌な人に出会うことはあるが、それ以上に多くの感じのいい人に出会った。街の好感度は他の街と比較しても高いと思う。そして今回、相手への配慮の言い方が根強く残っていることを知った。今後どれだけこの街にいるかは分からないが、この街のことをまだまだ知りたいと思う。「お願いしときます」は使わないと思うが。



和歌山のシンボル「和歌山城」